8月12日（水曜日）「洗礼者ヨハネ（1）登場」

【新改訳 2017】

ルカ　3•1－6

「アンナスとカヤバが大司祭であったころ、神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った。そこでヨハネは、ヨルダン川のほとり・・・・に行って、罪が赦されるための悔い改めに基づくバプテスマを説いた。」（2、3節）

人類の贖いと救いの偉大なドラマは、メシヤすなわち主イエス•キリストによって、その本番が開幕しようとしていました。主の先駆者ヨハネが登場して、道を備え始めたところです。これは、BC700 年ごろのイザヤの預言（イザヤ 40•3 参照）や、前もって祭司であり父であるザカリヤに告知されていたことの歴史的な成就でした。

預言の通り、時至って神のことばが下った時、彼は荒野におり、そこから出て罪の悔い改めとバプテスマ（洗礼）を説いたのです。それから、イエスの活動が開始されました。

預言や告知の成就という事実に注目してください。まことの神とそのみことばは、なんと確かなことでしょう。私たちの

信仰は、この確かさに立っているでしょうか。

～祈り～

主よ。あなたの預言は、なんと確実に成就したことでしょう。それは歴史が証明していることを覚えます。その確かさに立つ信仰であらせてください。

【学びのために】

8 月 2 日、6 日の日課も参照。併せて 16 日まで読むと、洗礼者ヨハネの全体像が見えてくるようになっています。